



2021年8月15日の盂蘭盆会の様子

第55号

# 法遍寺 から大切な 皆様へ

2021年9月1日

日蓮正宗 年間方針

宗祖日蓮大聖人  
御聖誕800年の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成と折伏実践

年間実践テーマ

① 日々勤行・唱題の実践

功德の源泉

一家和樂の信心

② 折伏実践こそ最善の報恩行

御命題達成

誓願成就

③ 寺院参詣と登山で人材育成

無始の罪障消滅

一生成仏

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

**相談無料**

慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は、静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日蓮上人が開基となつて、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人様の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

## ① 講中のみなさまへ

私たちには自身を益することのみを思い、言い、行なう側面がある。大聖人は南条殿に自らのご生涯を顧みられ「日蓮生まれし時よりいまに一日片時もころやすき事はなし。此の法華経の題目を弘めんと思ふばかりなり」(御書 1361頁)と仰せになられた。仏の慈悲を改めて拝し合掌したい。慈とは喜樂の因縁を示し樂を与え、悲とは難苦の因縁を説いて苦を除くという意である。大聖人は南条殿に深く心に銘記すべき指南をされた。それは「逆縁の人」を「善知識」と捉える心もちである。逆縁とは仏法に反発する境界をいい、不信かつ仏法を悪む心である。私たちの真如の命を覆うのは「無智」と「愚痴」である。唱題の功德は真如たる素直な心呼び起こし、陰蓋する煩惱を転じて「順善」と「明智」を開かしめる。日々真剣な勤行唱題を積み、歡喜と慈悲による折伏に邁進しよう。

## ② 創価学会に籍を置くみなさまへ(創価学会破門の経緯を知らない方へ その13)

昭和53年6月30日の聖教新聞における逸脱問題の是正は、以後における学会存続の基本路線となったが、現実組織の中でこれは徹底されなかった。脱会者が続出する中、学会は昭和53年11月7日、総本山大講堂において幹部二千名による「創立48周年記念登山代表幹部会」を開催した。これには日蓮上人をはじめ全国の宗門僧侶も出席した。この登山会合の目的は、学会がこれまで宗義の根幹をないがしろにし、独立の教団として突き進んだ誤りについて謝罪の意を表明するにあった。これを通称「お詫び登山」という。ここでは、学会や池田個人に下付された紙幅の御本尊を勝手に模刻して板本尊とし会員に拝ませた事件(8体)に関して、辻副会長の口弁によって謝罪がなされた。(次号では北条理事長、辻副会長、池田会長の反省陳述の要旨を掲載)

## ③ 正しい仏教への信仰を知らない方へ(一大事という言葉について)

私たちは「一大事」という言葉を口にしますが、これは容易ならぬ大事件や重大な事態をあらわすに用いる。この言葉の元は、仏が真実の悟りである妙法を説き明かす法華経の中の一文である。正確には「一大事因縁」という語で、諸仏がこの世に出現することがいかに重大であることを示した言葉である。また因縁とは出世の目的で、私たちの生命の奥に内在する智慧、すなわち仏性を「開かしめ」「その徳を示し」「無作を悟らしめ」「仏道に入らしめる」ため、仏はこの世に興出する。そしてこの仏性は仏界生命たる妙法蓮華経によって顕現することを教えるのである。つまり仏の実際の導きの意味と働きを「一大事因縁」と示されたのである。絶対の尊厳を積む「因」には幸福の「縁」が生まれ、「果」として尊い人生の道が築かれる。真実の信仰を知って下さい。